

ウスパーズ



ウィットネス・エージェンシーへようこそ。

君たちとともに活躍してくれるであろう4人のエージェントと、この組織のトップである^{アイキュー}IQを紹介しよう。

©2024-2025 Deep Print Games GmbH/SUGOROKUYA
v1.0 All rights reserved.



アナベラ

英国で犯罪もののテレビドラマシリーズの脚本家として成功を収めていたアナベラ。あるとき、アナベラが書いたフィクションの脚本を模倣している連続殺人犯がいるとスコットランドヤードが突き止めた。それを知ったアナベラは、シーズン最終回の脚本によって犯人逮捕をアシスト。この回は視聴者からも好評を博した。

そんな彼女もいまではウィットネス・エージェンシーに欠かせないメンバーの一人である。持ち前の鋭い洞察力と機知、人間心理への深い理解を活かし、悪党の策略をいともたやすく見破るのである——そう、まるで紅茶を片手にクロスワードパズルを解くかのように、軽々と。世の悪党諸君、きみたちの周りにいる控えめな女性を見くびらないほうがいい。その手元で縫っているのは、君たちの囚人服かもしれない。





ハリ

19世紀に世界を旅したロンドンの有名探検家がインドに残した非嫡出子の4代目の子孫……と噂されているが、その噂を信じているのはハリ本人だけだろう。昼夜を問わずツイードのジャケット姿なのも、虫眼鏡と書籍を収集しているのも、噂を信じているからこそだ。ちなみに、彼の犯罪学関連書のコレクションは、世界随一のレベルだ。

かつてはマンチェスター大学で犯罪学を教えていたが、教え子が起こした「双子事件」をきっかけに教師を辞めた。教え子の双子がハリの講義内容をもとに完全殺人を目論んだものの、ハリの見事な演繹推理によって、すんでのところまで未遂に終わったこの事件を記憶している人も多いだろう。教職を退いたハリはその後、犯罪と秘密裏に戦うためにエージェンシーに加わった。





ノリオ

数年前、どこの組織にも属さない一人の“はぐれスパイ”が、世界中の諜報機関を混乱に陥れた。驚異的な変装術を持ち、どこにでも入り込むこのスパイに狙われたら、秘密は通用しない。

どれほど厳重な警備を敷こうとすべてかいくぐり、痕跡を一切残さず姿を消すため、英国では「ゴースト」、アメリカでは「マン・ウィザウト・ア・ボディ体のない男」、ロシアでは「マトリョーシカ・スパイ」と呼ばれ、恐れられた。どんな罠も、このスパイには効果がない。企業の工場に忍び込み、環境対策の嘘を暴いて、株価の急落を招いたことも一度や二度ではない。

このスパイの正体が、かつて日本最精鋭のスパイとして暗躍したノリオだと知る者は少ない。恐るべき集中力と猫のような俊敏さを誇る彼は、変装と鍵破りの名人でもある。そんな男がいまや我々のエージェンシーのために働いているというのは、なんとも幸運なことである。





エリン

誰かが言った。「エリンをコンピューターに近付けるな。ネットに繋がってさえいれば、列車を脱線させるのも、飛行機を墜落させるのも、船を沈めるのも、お手の物なんだから」

……多少は大袈裟かもしれない。だが、エリンがコンピューターの天才なのは間違いない。ハッキングも偽造もお任せあれ。偽札、偽ID、偽造書類が必要？ それならエリンを頼るといい。

いまではその才能を善きことにのみ活かしている彼女だが、入局時には小さな嘘をついた。20歳だと言って採用されたものの、実は4歳も若かったのである。今日もエリンは、我々のエージェンシーの最年少局員だ。





IQについて確かなことはただひとつ。
IQからのメモ、メールなどにはすべて、サイン代わりに**Q**のマークが入っている、ということだけだ。

エージェンシーのブレインであるIQと直接会ったことがある者はほとんどいない。アイリス・クインという名も偽名だと言われ、その正体についての噂は様々だ。その名の下で、匿名の篤志家たちが犯罪との戦いのための資金を提供しているという説もあれば、外見に特別な事情があるために人目を避け、遠隔で指揮を執っているのだろうという見方もある。さらには、国際政治の世界で名を馳せた人物が極秘で行っている活動だ、という噂も囁かれている。

真の姿についての憶測が尽きないアイリス・クイン。時に真実に近づくこともあるが、大抵は誇張に満ちているのが、噂の常である。

